

ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会総会 次第

令和8年8月7日（金）午後1時～午後5時15分
252会議室

- 1 開会
- 2 議長選出
- 3 議事
第1号議案 ウェルビーイング・SDGs推進事業
助成金交付申請第二次審査（プレゼンテーション）
- 4 閉会

ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会第3回総会 議事概要

1 日 時 令和8年8月7日(金)13:00~17:15

2 場 所 品川区役所第二庁舎 5 階 252 会議室

3 出席者 委員 5 名、監事 1 名、事務局

4 議 事 (1) 第 1 号議案

ウェルビーイング・SDGs推進事業助成金交付申請第二次審査(プレゼンテーション)

○8 事業者によるプレゼンテーションが行われ、各委員から質疑応答がなされた。

○審査員が各評定項目について採点を行い、全審査員の総合評価に基づき、選定。

(評定項目:事業目的(必要性)(20 点)、内容(有効性)(30 点)、実施体制(15 点)、
成果(15 点)、コスト(10 点)、将来性(10 点))

①評価点の考え方について

審査員の採点を評定項目ごとに平均し、提案事業ごとに合計点を算出し、評価点とする。

②最低基準について

評価点 100 点満点中 60 点を最低基準点とし、最低基準点を満たさない場合は原則選定しない。

○各委員からの主な意見

<合同会社 BOUKEN>

- ・携帯トイレについて、備蓄していても使ったことがない人は多く、事前に使い方を考えておくことの重要性を感じた。
- ・品川区はマンション居住者が多く、自宅避難を前提とした視点も重要である。
- ・男女兼用で大小両方に対応する新規性のある製品と感じた。

<株式会社 LEAN>

- ・受験と生理というテーマ設定はユニークな取組である。
- ・教員等、指導者側にも相応の知識が求められると感じた。
- ・生徒が継続して入力していけるような取組を検討する必要がある。

<株式会社しながわ街づくり計画>

- ・高齢者施設では既にパンが提供されている中で、咀嚼しやすいパンを提供する意義を見出していく必要がある。
- ・特殊な設備や技術など、生産のための設備投資が不要な点で展開の可能性があると感じた。
- ・他社工房への展開等、需要が増えた場合の対応策を検討していく必要がある。

<株式会社オープンメディカルラボ>

- ・主観データを収集し、独自の解析手法で分析する点は面白さを感じた。
- ・様々な世代や、地域への関与度が異なる人に参加してもらう工夫が必要である。
- ・取組を効果的にするような参加者へのフィードバックが重要と感じた。

＜事業者A ※不採択のため、事業者名非表示＞

- ・大規模なイベント事業となるが、既存の人材紹介サービスとの差別化を図り、企業側の採用ニーズを引き出す必要がある。
- ・品川区の地域特性等を考えると、シングルファザーの支援ニーズも高いと感じる。

＜事業者B ※不採択のため、事業者名非表示＞

- ・既に銀行や証券会社なども金融教育を実施しており、将来的な事業展開を考える必要がある。
- ・現状でも実施可能な事業であり、学校へのノウハウ移転等も検討していく必要がある。

＜事業者C ※不採択のため、事業者名非表示＞

- ・家事分担の可視化はユニークな視点だが、他自治体で行った同様の取組との違いを明確にし、品川区で実証を行う意義を示す必要がある。
- ・家事分担への意識が高い家庭に偏ることのないよう、多様な家庭が参加するような工夫が必要である。

＜事業者D ※不採択のため、事業者名非表示＞

- ・自然資源の活用という点では一定の意義がある。
- ・香りに敏感な人もいるため、アロマ導入時は利用者の特性も踏まえた丁寧な対応が求められる。

審議の結果、別紙のとおり議決された。

・審査結果(全 8 事業対象)

①第二次審査通過・採択 4 事業

②第二次審査不採択 4 事業

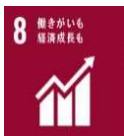
※第二次審査辞退 1 事業

＜第二次審査採択事業＞

事業者名	事業概要＜①目的 ②内容 ③事業計画[実施場所]＞		
	助成金額 (総事業費)	主なSDG s のゴール	
合同会社 BOUKEN	申請事業名：都市型避難における排泄と健康のウェルビーイング向上実証事業		
	①災害時の排泄問題が脱水、熱中症、感染症、災害関連死等につながる課題に対し、区民が「排泄と健康の関係」や災害時の備えについて理解を深める機会を創出する。体験型学習を通じて防災意識と行動変容を促し、品川区における「排泄と健康の防災教育モデル」の構築を目指す。 ②災害時のトイレ問題や在宅避難時の健康リスクについて学ぶ体験型ワークショップを実施する。携帯型排泄補助ツール「ちいかっぷ」や携帯トイレ用品の組立・使用体験を行うとともに、事前・事後アンケート等を通じて理解度や備蓄行動の変化を検証する。 ③7月：都市型防災ワークショップ開催 [品川産業支援交流施設 SHIP] 8月～12月：区民・在勤者向け体験型ワークショップ3回開催 [区内公共施設等] 1月～2月：アンケート集計・分析、防災教育プログラムとして成果とりまとめ 助成期間終了後：区内学校・企業・町会向けに有償ワークショップとして展開し、参加費・企業研修費・自治体委託費・製品販売収入を組み合わせる。さらに他自治体への展開で排泄と健康を含む防災教育の標準化を目指す。		
	¥800,000 (¥1,000,000)		 
株式会社 LEAN	申請事業名：受験期の中高校生における生理・コンディション課題の解決に向けた実証事業		
	①生理や睡眠、メンタル不調などが学業や部活動へ与える影響を可視化し、中高生の自己管理能力（メタ認知）の向上を図るとともに、生徒の不調を早期に把握できる仕組みを構築し、学校導入の「しながわモデル」の確立を目指す。 ②生徒が日々の心身の状態を記録できる学校向けコンディション管理システムを開発・運用する。入力データやアンケート結果を活用して効果検証を行い、生理・健康教育コンテンツの整備と学校導入モデルの構築を進める。 ③6月～8月：企画・準備（実証協力校ヒアリング、要件定義、学校特化型ベータ版開発、導入マニュアル等整備） [青稜中学校・高等学校] 9月～11月：実証クラスにおいてシステム運用開始、生徒・教職員へのヒアリングや機能改善を実施 [青稜中学校・高等学校] 11月～2月：リリース版開発、効果検証実施 2月：効果検証・レポート作成、教育コンテンツ動画一般公開 助成期間終了後：実証協力校への学校予算による本導入。利用料収入を開発・運用費に充当し、実証で得た要件定義をもとに区内他校への展開により、「しながわモデル」の水平展開を図る。		
	¥2,306,000 (¥2,883,736)		 

株式会社 しながわ 街づくり 計画	申請事業名：「食のバリアフリー」による高齢者 QOL 向上と 地域介護エコシステム構築実証事業 ①オーラルフレイルにより「食べる喜び」を失いつつある高齢者の QOL 向上を図るとともに、介護施設・在宅介護・EC を連動させた持続可能な地域介護エコシステムを構築し、品川区発の介護食モデルの確立を目指す。 ②農林水産省認定の「そしゃく配慮食品 JAS 規格」を取得した「おばあちゃんばん」を活用し、高齢者施設での提供実証、EC モニター調査、施設管理者向け体験プログラムを実施する。実証を通じて食べやすさや満足度向上の効果を検証し、介護食導入ガイドラインを作成する。 ③9 月：準備（区内高齢者施設との調整及び実証準備、EC モニター募集開始） 10 月～12 月：区内高齢者施設において提供実証を実施（食べやすさや満足度等を調査）、EC モニターによる継続調査を実施 [区内高齢者福祉施設、EC モニター自宅] 11 月～1 月：施設長・栄養士等を対象とした体験プログラム実施（導入効果検証） [区内高齢者福祉施設] 2 月：実証成果の統合、導入ガイドライン作成・展開 助成期間終了後：BtoB の定期仕入れ売上および BtoC の EC 定期便売上を主要収益源として事業自走化を図る。 ¥398,000 (¥1,094,650) 3 すべての人に健康と福祉を  10 人や国の不平等をなくそう  11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 
株式会社 オープン メディカ ルラボ	申請事業名：品川区ウェルビーイング実証事業：Enabling City Walk (ECW) イベント × Joyspan のびしろ診断コンテンツ × 日常利用向け ECW アプリによる市民参加型まちづくりデータ基盤の構築 ①区民の主観的ウェルビーイングデータを継続的に収集・分析し、品川区のウェルビーイング政策やまちづくりに活用できる EBPM（証拠に基づく政策立案）基盤の構築を目指す。 ②まち歩きイベント「Enabling City Walk (ECW)」、ウェルビーイング特性を診断する「Joyspan のびしろ診断」、日常利用向け ECW アプリを組み合わせ、区民の感情・行動・位置情報データを収集する。分析結果から行政投資優先度マップや EBPM 政策提言を取りまとめ、「ウェルビーイング・まちづくり調査報告書」を作成する。 ③8 月～9 月：準備（関係者調整、参加者募集、日常版 ECW アプリ開発） 10 月～12 月：まち歩きイベント「ECW」を各地区で計 7 回程度実施、Joyspan のびしろ診断実施、日常版 ECW アプリモニター調査実施 [区内各地区] 1 月：データ分析、行政投資優先度マップ・調査報告書作成 2 月：成果報告 助成期間終了後：品川区内的での実績をもとに、近隣自治体への展開や法人向け健康経営サービス提供により収益事業化を図る ¥5,000,000 (¥7,500,000) 3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 

<第二次審査不採択事業> ※不採択のため、事業者名非表示

事業者名	事業概要<①目的 ②内容 ③事業計画[実施場所]>		
	申請金額 (総事業費)	主なSDG s のゴール	
A	申請事業名：ひとり親世帯をはじめとした子育て女性のキャリアについて考える イベント「ママ・リワーク」 ①子育て女性が就労やキャリア形成において抱える課題の解決に向け、企業との接点やキャリア形成支援の機会を提供することで、就業機会の拡大と経済的自立を支援する。あわせて、子育て女性が働き続けやすい社会環境づくりや企業の意識変革を促進する。 ②子育て女性を対象とした大型キャリアイベント「ママ・リワーク」を開催し、企業交流、キャリア相談、家計・法律相談、託児支援等を提供する。イベント終了後は就労支援プラットフォームを活用し、参加者への継続的な就職・転職支援を実施する。 ③6月～9月：準備（コンテンツ詳細確定、協賛企業募集、参加者募集等） 10月：キャリアイベント実施〔区内ホール等〕 11月～2月：就労支援実施、来場者就労状況検証〔オンライン〕 助成期間終了後：年次イベント化し、イベント運営や就労支援事業を継続により、企業との連携を通じた持続可能な事業モデルの構築を目指す。		
	¥4,178,000 (¥12,023,647)		 
B	申請事業名：品川こども審査員DXプロジェクト ～子どもが学びを評価し、未来の教育を共創する仕組みづくり～ ①子どもが教育コンテンツの評価に参画する仕組みを構築し、主体性や自己効力感の向上を図るとともに、学校・企業・地域が連携した子ども参画型教育DXモデルの構築を目指す。 ②小学生向けの「こども審査員DXシステム」を開発し、中高生が作成した金融教育動画等の視聴・評価を行う仕組みを構築する。評価結果や意見を分析し、教育コンテンツの改善や子ども参画型教育手法の有効性を検証する。 ③7月～9月：準備（連携先調整、審査システム開発、審査基準設計、テスト） 10月～11月：事前学習ワークショップ、オンライン審査、会場審査実施〔各協力校、区内ホール等〕 12月～2月：評価データ・アンケート分析、成果報告 助成期間終了後：子ども参画型教育DXモデルとして学校・自治体等への展開を目指す。		
	¥2,523,000 (¥3,924,900)		   
C	申請事業名：家庭内協働の見える化による品川区ウェルビーイング向上実証事業 ①共働き・子育て世帯における家事・育児・介護分担の偏りや家庭内の見えない負担を可視化し、対話と協働を促進することで、家庭・仕事・地域生活のウェルビーイング向上を図る。あわせて、家庭内協働の変化を測定・分析する「品川モデル」の構築を目指す。 ②家事・育児・介護分担の可視化ツールを活用し、家庭内のタスクや依頼・感謝行動等を記録		

	する。利用ログとアンケートデータを組み合わせて分析し、対話や納得感、心理的余裕の変化を検証するとともに、区民向け啓発資料や企業向け支援施策への活用を図る。 ③7月～8月：準備（実証設計、調査設計、広報物作成、連携先調整） 9月～10月：実証協力者募集、説明会開催［オンライン］ 11月～2月：ツール利用実証［実証協力者自宅、オンライン］ 2月：事後調査・分析 助成期間終了後：企業向け両立支援研修や自治体向けプログラムとして展開し、家庭内協働モデルの普及を目指す。						
	¥3,072,000 (¥3,840,000)	3 すべての人に健康と福祉を 	5 ジェンダー平等を實現しよう 	8 働きがいも経済成長も 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	17 パートナースhipで目標を達成しよう 
D	申請事業名：しながわ・フォレストウェルビーイング・プロジェクト ①都市部で働く人のストレスやメンタルヘルス課題の改善と、地域資源の有効活用を両立する循環型ビジネスモデルを構築する。自然由来の香りを活用し、働く人のウェルビーイング向上と地域資源循環の実現を目指す。 ②自然由来のオリジナル空間アロマを開発し、区内企業や行政機関等で導入実証を行う。心拍変動データやアンケート等を活用して、ストレス軽減や職場環境改善への効果を検証する。 ③9月～10月：連携自治体等における連携可能性調査 11月～12月：オリジナル空間アロマ開発、実証協力先募集 1月：空間アロマ導入実証［区内実証協力先施設］ 2月：実証結果取りまとめ・分析 助成期間終了後：本実証で得られた成果をもとに、企業や自治体等への展開を検討する。						
	¥1,150,000 (¥1,438,330)	3 すべての人に健康と福祉を 	12 つくる責任 つかう責任 	15 陸の豊かさも守ろう 	17 パートナースhipで目標を達成しよう 		